



大分県竹田市

渡辺 克哉

年齢 : 45歳

営農類型 : 繁殖牛 (75頭)

飼料作物 (380a)

経営構成 : ・本人

・父

・母

私について 就農のきっかけ

実家の畜産業をいずれは自分が継ぐという想いは以前から持っていました。

きっかけは、両親が高齢になり、体力的にきつくなったという声を聞き、当時勤めていた防衛省（自衛隊）を退職後、親元就農という形で就農し、5年目に両親から経営を継承しました。

両親から受け継いだ基盤をしっかりと維持していけるよう、竹田市和牛振興会の役員を勤めるなど、地域畜産の中核的存在として認めていただけるよう、意欲的に畜産経営に取り組んでいます。

地域団体への加入状況

竹田市和牛振興会役員をはじめ、大分県内畜産関係者で構成する大分畜産ネット「鼓動」に参画しています。「鼓動」は子牛市場で知り合いに誘っていただいたのがきっかけで参画し、経営感覚を磨き新技術を習得するため、地域の畜産農家の仲間と切磋琢磨しながら研修に励んでいます。

就農時に活用した支援（大分県親元就農給付金（開始型））

親元就農を決めたとき、大分県には、独自補助（親元就農給付金）制度があるのを知り、1年間開始型の給付金を受給しました。就農当時は日々の生活費として使っていましたが、経営経験を積んだ今思うと、就農して数年経過した時に、必要な設備・資材が思い浮かび、継承のことも考え始めるので、就農開始時に給付金を受け取るのではなく、設備投資などに活用できる助成制度のいずれかを選択できる制度だとありがたいと思いました。

現在の課題について

繁殖農家として子牛価格の低迷と飼料価格の高騰が昨今の課題です。現状を耐え抜くため、牧場からの採草やWCSなどの自給飼料の生産にも力を入れ、コスト低減に努めています。

新規就農者にむけて

私は、親元就農という形で両親から技術・知識を習得してきましたが、新規参入者の方については、雇用や研修を通して学んだことを、実践を通して深めていただければと思っています。その中で、地域の同業者との意見交換などを通して、自分の経営の参考としていただければと思います。

今後の目標と取り組みについて

現在は、先端技術の導入にも力を入れており、大分県の県単事業であるスマート畜産推進対策事業を活用し、牛温恵（発情発見装置）を導入し、子牛の分娩時の死亡事故や発情見逃しの防止対策をしています。

目標としては、1年1産を掲げています。発情適期に種付けを行うため、人工授精師の資格を取得しました。今後も両親が築いてくれた基盤を維持するとともに、育種にも力を入れていきたいと思っています。